

## 8-1 中国・四国地方の上下変動

### Vertical Crustal Movements in the Chugoku and Shikoku Districts

国土地理院  
Geographical Survey Institute

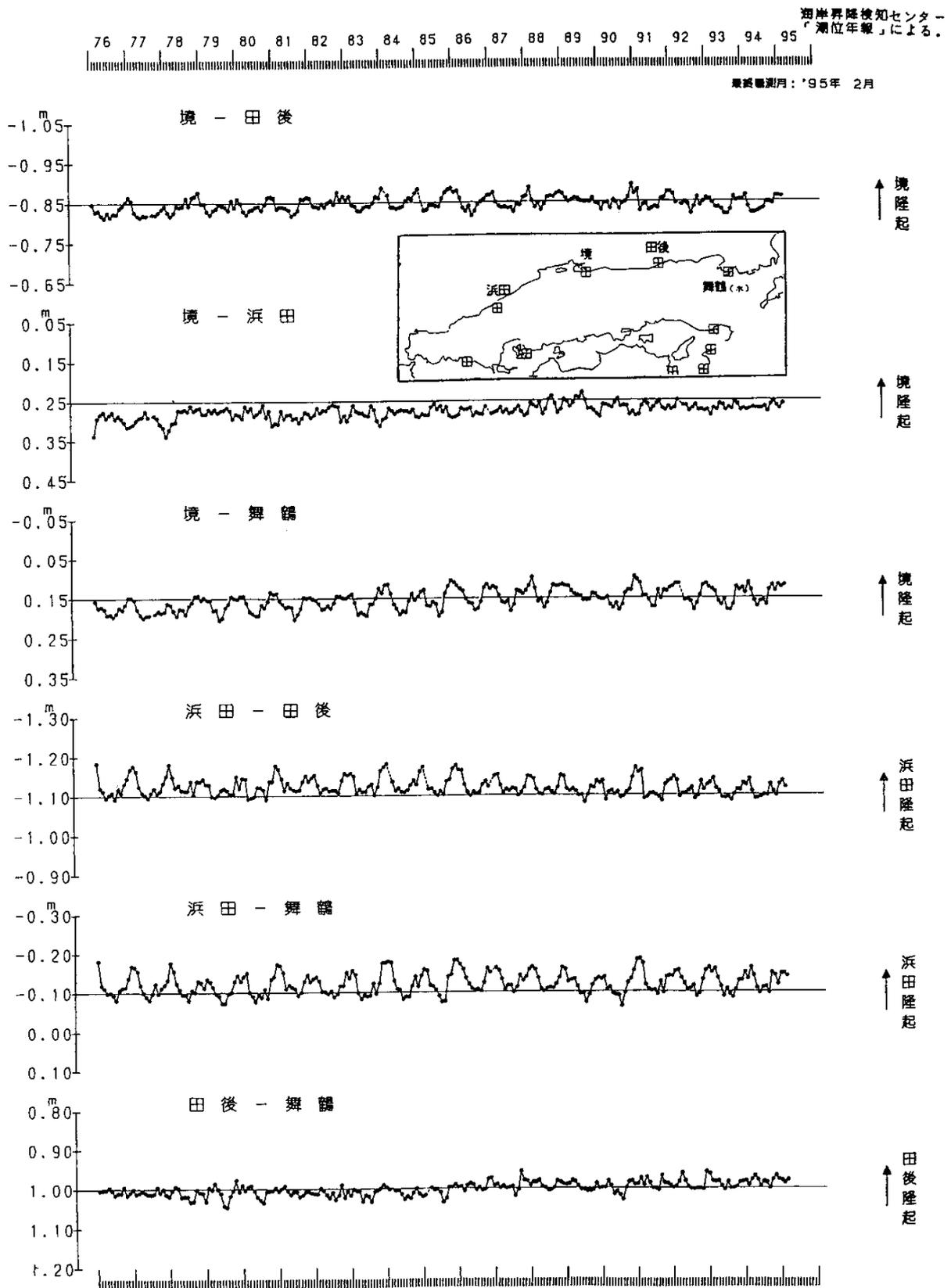
第1図は、山陰地方各験潮場間の月平均潮位差である。長期的には、境と田後が隆起傾向にあるが、特に異常な変化は認められない。

第2図は、瀬戸内西部の験潮場間の月平均潮位差である。呉と徳山の沈降が1980年代はじめから継続していたが、最近1年間は停滞気味である。

第3図は、四国地方各験潮場間の月平均潮位差である。1995年2月に、室戸岬と土佐清水が急激に沈降しているようにも見えるが、験潮場の属する海域の違いによる海流の影響等の可能性もあるので、今後の推移を見守りたい。

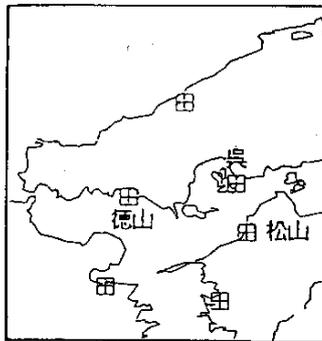
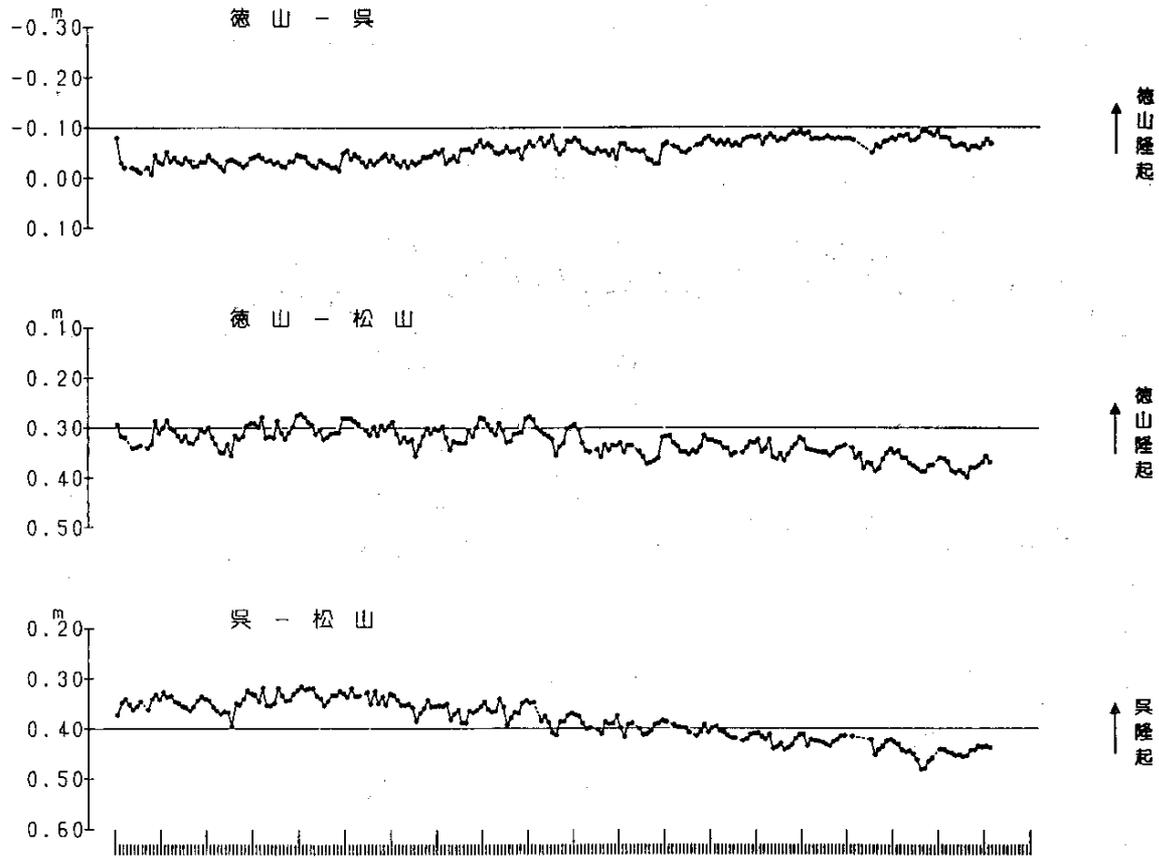
#### 参 考 文 献

- 1) 国土地理院：中国・四国地方の地殻変動，連絡会報，**51** (1994)，642-649.
- 2) 国土地理院：中国・四国地方の地殻変動，連絡会報，**52** (1994)，499-508.
- 3) 国土地理院：中国・四国地方の上下変動，連絡会報，**53** (1995)，631-637.



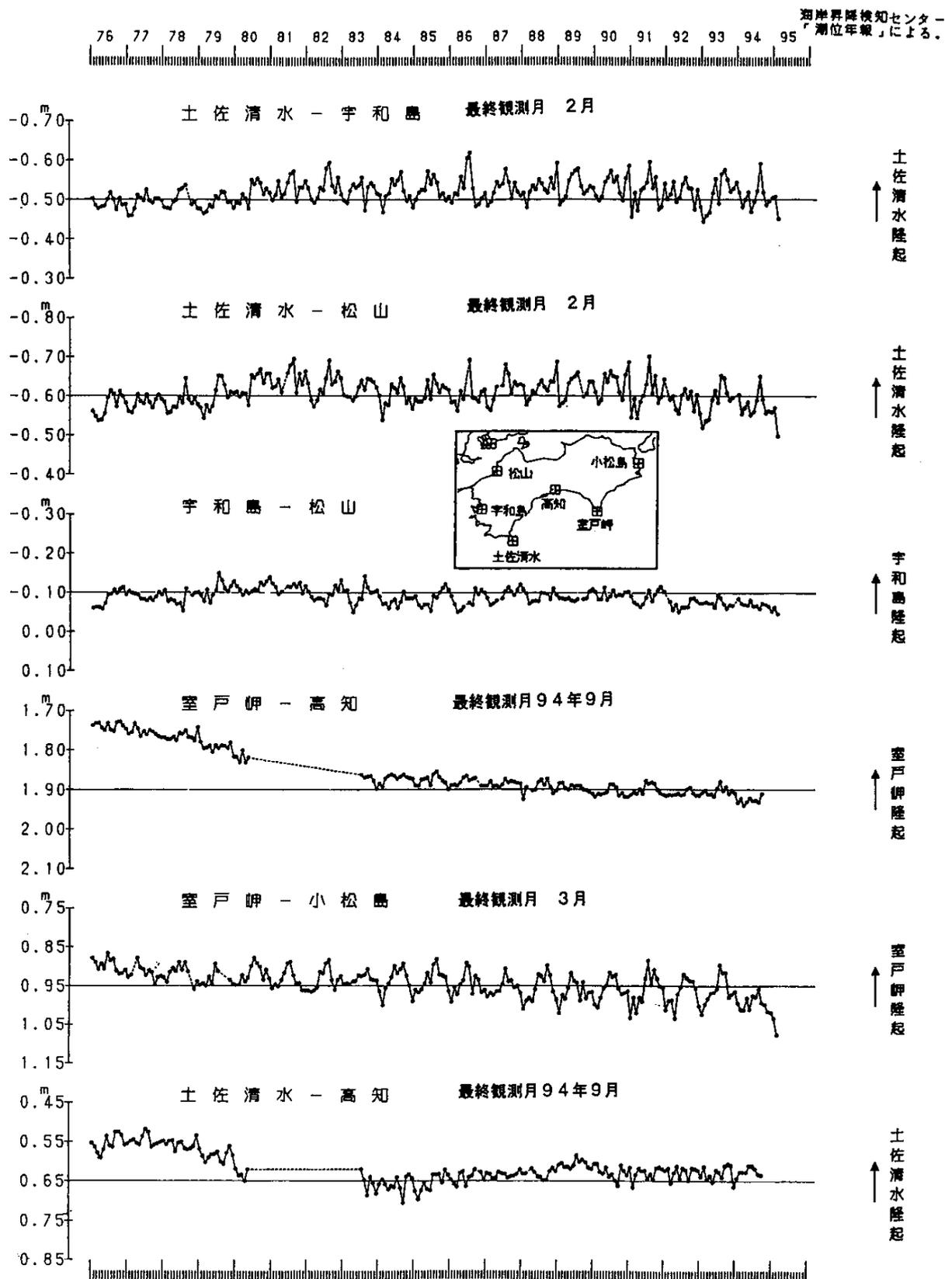
第1図 山陰地方各験潮場間の月平均潮位差

Fig.1 Differences in monthly mean sea levels between pairs of tide stations in the Sanin district.



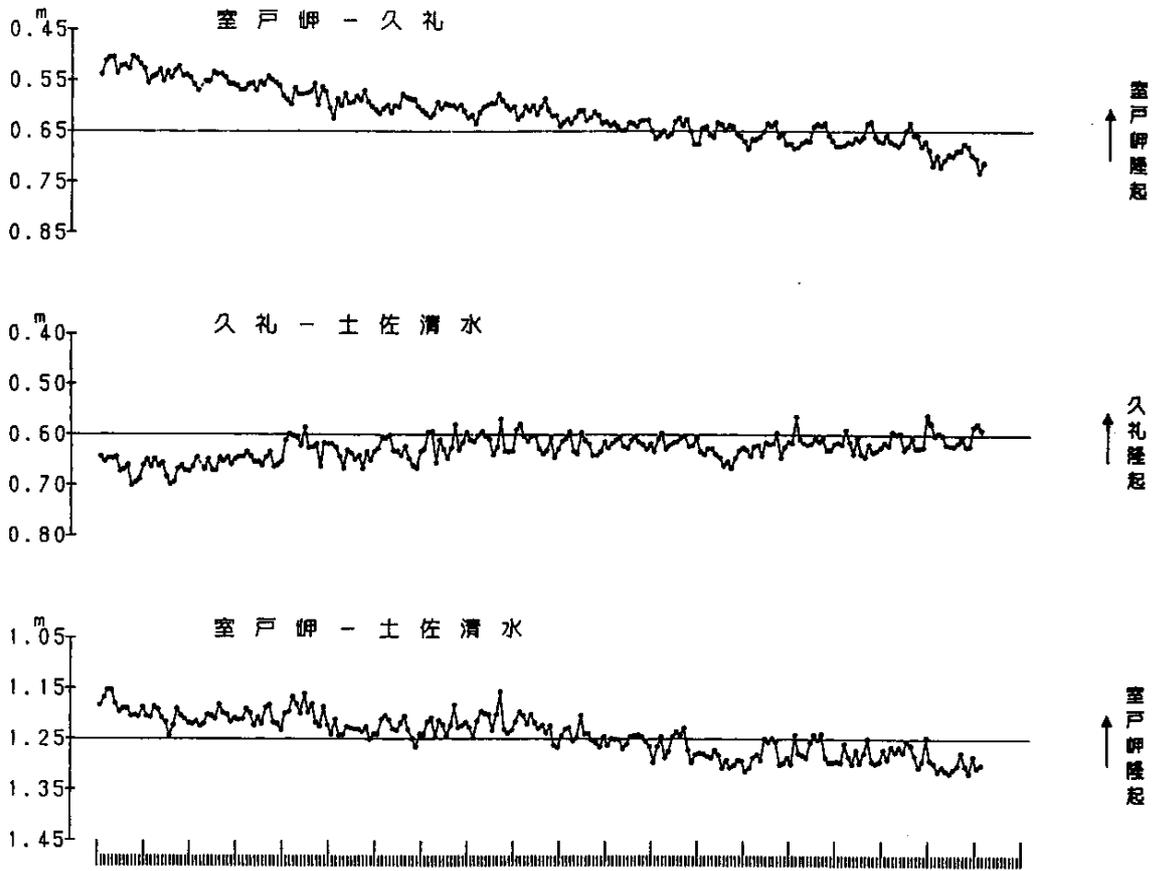
第2図 瀬戸内海西部地方各験潮場間の月平均潮位差

Fig.2 Differences in monthly mean sea levels between pairs of tide stations in the western Seto Inland Sea region.



第3図 四国地方各験潮場間の月平均潮位差

Fig.3 Differences in monthly mean sea levels between pairs of tide stations in the Shikoku district.



第3図 つづき  
Fig.3 (Continued)